

新長期 에너지 政策

— 安定・低廉・良質을 指向 —



商工部 動力開發局 <提供>

I. 前 提

1) '80年代初 輸出 100億弗, 1人當 GNP 1,000弗 達成
을 위한 新 經濟指標採擇

GNP 成長率: 3次期間年平均 9.0%
4次期間年平均 11.0%
人口 增加率: 3次期間 1.5%
4次期間 1.3%

2) 産業構造의 高度化反映

81年 續 農 水 産: 18.0%
工 業: 34.7%
社 會 間 接, 其 他: 47.3%

3) 政策樹立上的 主要考慮事項

- ① 國內에너지는 石油을 除外한 모든 에너지源 活用
- ② 石油類價格의 上昇과 石炭生産條件의 不利化勘案
- ③ 水力發電所建設은 建設部 水資源開發計劃에 依함.
- ④ 薪炭需要는 內務部 治山綠化10個年計劃 適用

II. 主要內容

1) 總에너지需要: $\left\{ \begin{array}{l} 3次期間中 年平均 10.4\% \\ 4次期間中 年平均 10.3\% \end{array} \right.$ 增加豫想

2) 物量增加: $\left\{ \begin{array}{l} '72 \\ 43,600千吨 \end{array} \right. \xrightarrow{2.6倍} \left\{ \begin{array}{l} '81 \\ 1億1,270萬 t \end{array} \right.$

3) 總에너지 中 $\left\{ \begin{array}{l} 石炭比重: 72年 28.3\% \rightarrow '81年 20.1\% \\ 石油比重: 72年 52.2\% \rightarrow '81年 68.7\% \end{array} \right.$

4) 源別需要

區 分	'72	'81	增 加
石 炭 (千噸)	12,366	22,650	1.8 倍
電 力 (百萬 Kwh)	9,992	38,397	約 4倍
石 油 (千kl)	13,701	48,070	3.5倍
薪 炭 (千噸)	7,824	5,827	△0.7倍

5) 源別供給

區 分	'72	'78	增 加
無煙炭 (千噸)	12,340	16,000	1.3倍
電 力 (千 kw)	3,871	10,781	2.7倍
精 油 (千 BPSD)	395	1,255	3倍

6) 世界에너지 源別 增加率 및 消費 構成

에너지 源別 消費 增加率 (61-70)

源 別	年平均 增加率
石 炭	3.3%
電 力	7.8 "
原 油	8.0 "
天 然 가 스	8.6 "

8) 主要國의 에너지 消費增加率 및 1人當 消費量

國 名	年平均增加率 ('61-70)	1人當消費量 (1970年度)
美 國	4.6	11.1%
蘇 聯	5.9	4.4
日 本	11.8	3.2
英 國	1.5	5.4
西 獨	4.5	5.1
佛 蘭 西	5.7	3.8
카 나 다	6.7	9.0
伊 太 利	9.8	2.7
韓 國	7.7	1.4

註：韓國은 '72年 無煙炭 基準임.

Ⅲ. 部門別施策 (省略)

7) 에너지 源別 消費 構成

